

世界の子どもたちをつなぐコミュニティサイト

ミ ラ
 「未来クル・MIRACLE—こども未来創造プロジェクト」をプレ・オープンしました
 —日英両言語で世界 191 カ国をつなぐ—

日本興亜損害保険株式会社(社長 二宮 雅也)と日本の環境情報を世界 191 カ国に発信している
 NGO ジャパン・フォー・サステナビリティ(代表 枝廣 淳子)は、世界の子どもたちをつなぐコミュニティサイト
 「未来クル・MIRACLE—こども未来創造プロジェクト」(<http://miracle-kids.net>)を本日プレ・オープンしました
 のでお知らせします。

■コミュニティサイト「未来クル・MIRACLE—こども未来創造プロジェクト」の概要

本サイトは、未来を担う世界中の子どもたち(主に小学生高学年～中学生)を対象に、地球環境問題をは
 じめとして、社会のことを自分たちで考え、お互いに学び合い、人に伝え、行動するきっかけをつかんでほ
 しい、という思いでつくられたオンライン上のコミュニティサイトです。

【プレ・オープンのコンテンツ】

世界中の子どもたちに「今あるもので、100年後も残っていてほしいものは何？」という問いを投げかけ、
 ウェブサイト上で回答を募集します。この問いを通して、子どもたちが未来に対するビジョンを共有するき
 っかけになると同時に、現在の大人世代の役割についても再考する機会となることが期待できます。回
 答結果は、9月上旬のサイトのグランドオープンで発表する予定です。

なお、グランドオープン後のコンテンツとしては、世界中の子どもたちの意見を聞く“みんなの投票箱”や
 地球環境問題などに関する世界中のユニークなニュースを紹介する“未来クルレポート”などを予定し
 ています。

【サイトイメージ】



【運営体制】

本サイトは、環境 NGO ジャパン・フォー・サステナビリティとファウンディングサポーター（設立支援者）である日本興亜損保が中心となって運営します。

【本サイトの特徴】

○世界中の子どもたちに「つながり」の機会を提供

子どもたちはこのサイトでの、遠く離れた国や地域に住む同世代の仲間とのコミュニケーションを通じて、「つながる楽しさ」を発見できます。

○子どもたちの自発性と行動力を喚起

このサイトでのコミュニケーションがきっかけとなり、世界中の仲間のさまざまな発想を知り、自ら考える力、自分の思いを伝える力を身につけることができます。各地域・各国そして世界を「本当に幸せな未来」へと動かしていく子ども*たちが現れることが期待されます。

*世界を動かした子どもの例

1992年、リオデジャネイロで開催された「地球サミット」に、子どもの環境団体の代表としてカナダから参加したセヴァン・スズキさん（当時12歳）は、その会議で後に「伝説のスピーチ」と呼ばれる講演を行いました。彼女のスピーチは、満場の拍手喝采を博し、サミットに参加していたメンバーに感動を与え、世界中にも大きな影響があったと言われています。

○バイリンガルな構成により、グローバルな感性を育成

本サイトは日英両言語で運営され、子どもたちからの日本語の書き込みは英語に、英語での書き込みは日本語に翻訳されます。楽しみながら英語に触れる機会を提供することで、真にグローバルな感性を備えた子どもたちの育成に寄与することができます。

■日本興亜損保が取り組む背景

地球温暖化や生物多様性の損失などは、保険会社にとっても、自然災害の増加による保険金支払の増加、それに伴う保険料の上昇などの影響を与えると考えられます。日本興亜損保は、重要な社会的課題の解決への貢献をはじめとした「社会への貢献」を経営目標としており、次世代のサステナビリティ教育を通して持続可能な社会の実現に貢献するため、このサイトを立ち上げることにしました。

